

令和2年度第1回花巻市立図書館協議会 会議録

1 開催日時

令和2年7月21日（火） 午前10時00分～午前11時55分

2 開催場所

花巻市立花巻図書館 会議室

3 出席者

（1）委員（12名）

佛川恒明委員、阿部久幸委員、堀合範子委員、藤田甲之助委員、
中里美香委員、高橋則子委員、佐々木さつき委員、熊谷恵委員、
坂本知彌委員、佐藤三恵子委員、及川智子委員、小笠原智恵子委員

（2）事務局（9名）

市川生涯学習部長、佐々木生涯学習課長、梅原花巻図書館長、
小原大迫図書館長、火石石鳥谷図書館長、菊池東和図書館長、
久保田花巻図書館副館長、伊藤花巻図書館業務係長、黒澤石鳥谷図書館主査

4 欠席者

なし

5 傍聴人

3名

6 議題等（議事録）

◎会議に先立ち、市川生涯学習部長から委員に委嘱状を交付

◎会議成立の報告（久保田花巻図書館副館長）

- ・委員12名全員出席。出席委員数が構成委員の過半数を超えているので、花巻市立図書館協議会規則第7条により、本会議が成立することを報告。

1 開会（久保田花巻図書館副館長）

2 部長あいさつ（市川生涯学習部長）

皆さんおはようございます。今日のご出席をいただきまして、大変ありがとうございます

ございます。

図書館協議会ですが、引き続き委員としてお願いしている方は、中身をおわかりかと思いますが、図書館協議会は図書館の事業などの運営面について、特にご審議いただくというような内容になっております。

また、今、花巻図書館を移転新築しようという計画がございまして、これも前の図書館協議会委員の皆さま方にもいろいろと議論いただき、基本構想をつくりましたが、現在その次の基本計画をつくるという段階になっておりまして、その状況につきましても、今日はご説明をして、今年どのように進めていくかというようなこともお話ししたいと思っております。

今日は盛りだくさんな内容となりますが、皆さま方からのご意見を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。本日はよろしくお願いいたします。

3 委員紹介

- ・資料添付名簿順に各委員から自己紹介。

4 事務局紹介

- ・花巻図書館、大迫図書館、石鳥谷図書館、東和図書館の順で自己紹介。

5 協議会概要説明

- ・事務局から花巻市立図書館協議会について、条例及び規則により説明。

6 会長及び副会長の選出

- ・事務局から、花巻市立図書館協議会規則第5条により、会長及び副会長を委員の互選により選出することとなっている旨を説明。どのような方法で選出するか、委員にお諮りした。
- ・事務局案との声があり、他に特に意見がなかったことから、事務局案として、会長を坂本知彌委員をお願いしたい旨説明。
- ・全委員異議なく、坂本知彌委員を会長とすることに決定。
- ・坂本会長が会長席に着き、皆様のご協力をお願いしたい旨挨拶。
- ・坂本会長から副会長の選出について、会長指名でお願いしてよいか委員に諮り熊谷恵委員を副会長をお願いしたい旨説明。全委員異議なく、熊谷恵委員を副会長とすることに決定。

7 議 題（図書館協議会規則第6条により、会長が議長となる）

（1）令和元年度花巻市立図書館の事業実施状況等について

- ・令和元年度花巻市立図書館の事業実施状況について、花巻図書館から順番に各館が説明。

花巻：伊藤業務係長、大迫：小原館長、石鳥谷：火石館長、
東和：菊池館長

- ・令和元年度決算・令和2年度予算概要及び図書館統計等について、久保田花巻図書館副館長から説明。

（質 疑）

（○坂本会長）

ただいま事業の状況等を説明していただきましたが、これに関してご質問ございませんでしょうか。

（○小笠原委員）

小笠原と申します。それぞれの図書館でいろいろな事業をしていて、自分が知らないことがたくさんあると思いました。本当に改めてもっと関心を持たなければいけないと思ったのですが、資料を見ると石鳥谷図書館や東和図書館、大迫図書館ではリサイクル関係の行事をしていて、花巻図書館ではそのような行事がなかったようですが、その点はどうなっているのでしょうか。あともう1点、図書館統計資料のなかの「利用登録者及び登録率の推移」というところで、5年ほど前は10人に1人ぐらいしか利用登録していなかったのが、今は5人に1人ぐらいの利用登録率になったという実態なののでしょうか。その確認です。よろしくお願いします。

（○伊藤業務係長）

私からは、花巻図書館の本のリサイクルの関係についてお答えしたいと思います。花巻図書館では、開催場所や本の（保管場所等の）管理が難しいということで、リサイクル広場などは開催しておりませんが、ほかの図書館で行っているところに、本の提供を行っております。

（○久保田花巻図書館副館長）

図書館統計については、私から説明いたしますが、委員のおっしゃるとおり、登録率では10人に1人という割合になります。こちらの数字が、利用登録している方ということで、ちょうど昨年度説明しましたが、平成26年度までは1度利用登録をすると、その後、1回も利用しなくても、利用登録者にカウントしていたのですが、それですと実際の利用登録者数とは呼べないということで、3年間に1度も利用がなければ、利用登録者のカウントからは外すという形に、平成27年度から見直しをしました。実際に登録している方はもっとたくさんいらっしゃる

と思いますが、3年のうちに1度も利用がない場合は、いったんカウントから外れる形になりますので、現在、平成27年度から載っておりますが、3年間のうちで初めて登録した方とか、3年前に登録した方、あるいは定期的にご利用している登録者の数としては、この数字ということになります。それを、下から2行目の総人口で割り返すとこの登録率ということになります。実際は、図書館を利用しているのは、登録されている方だけではないのですが、登録している方の状況としてはこういう数値になります。以上です。

(○坂本会長)

ほかにはございませんでしょうか。はい、藤田委員さん。

(○藤田委員)

資料2-1には「令和2年度の花巻市立図書館運営方針」とありますが、平成31年度の図書館運営方針の添付はないのでしょうか。というのも、決算資料もありますし、あとは事業をこういう手法で行ってきたというのもわかるのですが、どのような運営方針のもとに事業を行ってきたのか、それに準じたその費用対効果もしっかりと見ることができるのかどうかということが、やはり、平成31年度の運営方針がないと比較対照できないのかなというように思うのですが、いかがでしょうか。

(○梅原花巻図書館長)

お答えいたします。例年の図書館協議会ですと、令和2年度の運営方針は、前年度2月開催の協議会で運営方針案をご説明して、そこで承認いただき、次年度第1回目の協議会の議題には上げないのですが、今回、委員の皆さんの改選期ということで、半数の方が新しく委員に任命されましたので、再度運営方針をご説明したいと思い資料につけさせていただきました。このような事情から、元年度の運営方針は今準備しておりませんので、後ほどお渡ししたいと思います。よろしくお願いします。

(○藤田委員)

はい。ありがとうございます。

(○坂本会長)

ほかにはございませんでしょうか。それでは、ご意見がございましたらお願いします。はい、小笠原委員さん。

(○小笠原委員)

利用登録者数だけ見ると、来場者というか、これくらいの方が図書館に来ている、利用しているというイメージが沸きませんが、図書館には利用者カードがない人も来ていることですよね。そういうふうな図書館をこれから目指すのだと思いますので、このくらい図書館が利用されているということが、把握できる数字

があればいいと思いました。

(○坂本会長)

来館者数ということですか。

(○小笠原委員)

来館か入館かわかりませんが、私も新聞だけ読んで帰ることがありますが、利用者カードを持っているので、図書館統計の数値にカウントされていると思うのですが、同じように利用していても利用者カードを持っていない人もいると思うので、その辺を考えていただいて、来場者数というような何か把握できるものがないだろうかなと思いました。

(○坂本会長)

以前、チップか何かで人数を集計していましたよね。あれは今どうなっているのでしょうか。

(○梅原花巻図書館長)

来館者数は、出入り口のところに来客カウンターを設置しており、来館されるとカウントするようになっていまして、4館とも年間の数値は集計しておりますので、今資料をお待ちします。

(○坂本会長)

今はデジタルになったのですね、アナログの時はこのチップがあって、子どもとか大人とか分けて集計していました。

(○久保田花巻図書館副館長)

すみません。それでは、昨年度の来館者、入館者数となりますが、花巻図書館が118,839名、大迫図書館が18,876名、石鳥谷図書館が41,554名、東和図書館が62,989名になりますので、4館合計しますと242,258名来館しております。次回、統計資料をつくる時には、入館者数についても記載するようにしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(○坂本会長)

ありがとうございます。多いのか少ないのか、どうなのでしょうね。この数値がどんだんうなぎ上りに上がってくことが、新しい図書館に対する期待とともに、あればいいなと思います。

それでは2番目に移ってよろしいですか。はい、それでは議題の2番目「令和2年度花巻市立図書館の運営方針及び事業計画について」ご説明願います。

(2) 令和2年度花巻市立図書館の運営方針及び事業計画について

- ・令和2年度花巻市立図書館の運営方針及びについて、梅原花巻図書館長から説明。

- ・令和2年度花巻市立図書館の事業計画について、花巻図書館から順番に各館が説明。

花巻：伊藤業務係長、大迫：小原館長、石鳥谷：火石館長、
東和：菊池館長

(質 疑)

(○坂本会長)

それでは、この事業計画についてのご質問がありましたらお願いします。

(○中里委員)

花巻図書館では読書おもいで帳を何年か前から発行していると思うのですが、おもいで帳発行前と始めてからで、何か違いを実感していることがあれば教えてくださいたいです。

(○伊藤業務係長)

各地域の小学校にも、読書おもいで帳機を入れていただいている学校が何校かございますが、そちらでもお使いいただけるということで、喜んでつくっていただいているお子さんもいますし、あとは図書館で、自分の読書おもいで帳を読書おもいで帳機に入れて、借りた本を印刷することがとても楽しくて、いつも一生懸命記帳しているお子さんもいますので、つくっていただいた方には活用していただいているかなという感じを受けております。

(○中里委員)

本の貸し出し数が増えたとか、そういうことはありますか。

(○梅原花巻図書館長)

最初は小学校1年生のお子さんだけが対象でしたが、翌年から赤ちゃんから中学生までに対象を広げました。小学生のところで見ると、貸出冊数が平成28年度は一人当たり10.2冊でしたが、読書おもいで帳を導入した平成29年度で10.8冊、平成30年度で13冊というように着々と伸びていました。ただ、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で3月にほとんど休館していたこともあって、数値が少し落ちてしまったのですが、そこに至るまでは順調に増えてきたところがあります。また、未就学児についても、平成29年度が6.3冊だったのが、平成30年度に7.7冊と伸びたので、やっぱり効果はあったのかなと、もちろん、読書おもいで帳に記帳しなくても本が好きで本を借りてくださるお子さんもいらっしゃいますが、本を読むきっかけの一つにはなっているのかなと思います。

(○中里委員)

はい、わかりました。ありがとうございます。

(○坂本会長)

ほかにございませんか。はい、藤田委員さん。

(○藤田委員)

まず事業実施計画・作成とお疲れさまでございました。ちょっとお伺いしたいことがあるのですが、運営方針にあります「2 読書活動の推進」の部分で、『富士大学などの協力のもとに開催し』という記載があるのですが、この運営方針の各図書館の（実施計画）記載の中で、富士大学と連携するという部分が見受けられなかったもので、もしよければ口頭でもいいので教えていただきたいと思います。

(○伊藤業務係長)

すみません。資料には明記していなかったのですが、資料2-2の4館共通の事業のほうで「(3) 読書活動推進事業」の中に「花巻市読書活動推進スキルアップ講座」というのがありますが、この事業で講師を富士大学の先生にお願いしたり、「(2) みんなでライブラリー事業」の一環で、ビブリオバトルをするときに、富士大学の先生に進行などをお願いしたりするなどご協力をいただいております。昨年までも富士大学の図書館に伺わせていただきまして、図書館見学をさせていただいたり、お話しを伺ったりということもしております。また、花巻市立図書館の利用者カードをお持ちの方は、富士大学の図書館の利用者カードもおつくりいただいて、利用していただけるということで、そちらのほうでも連携を図っております。

(○藤田委員)

はい、ありがとうございます。

(○坂本会長)

ほかにございませんでしょうか。はい、堀合委員さん。

(○堀合委員)

今、富士大学との利用の連携という話がありましたが、前に北上市立図書館に行ったときに、花巻の利用者カードでも、本が貸し出しできるというように聞いたのですが、とてもいいことだなと思っておりますが、それは現在こういった市町村まで広がっているのでしょうか。

(○梅原花巻図書館長)

花巻市立図書館からの貸し出しは、花巻市の近接市町であればすべて利用できます。北上市や紫波町、江刺と東和が接しているので奥州市や雫石町など、花巻市と接している市町在住の方は花巻市立図書館を利用いただけます。逆に花巻市民が他市町村のどの図書館を利用できるかということについては、すべてを把握していませんが、北上市立図書館や紫波町図書館はご利用いただけます。

(○堀合委員)

宮守とかもよかったのでしょうか。

(○梅原花巻図書館長)

宮守を含め、遠野市立図書館もご利用いただけます。遠野のお子さんたちも、東和図書館を利用する方が多いですので、お互いに利用し合っています。

(○坂本会長)

ほかにありませんでしょうか。それでは、ご意見はいかがでしょうか。

新型コロナウイルス感染症対策で本当に大変ですね。今回、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった事業について、復活するということはあるのでしょうか。今までせっかく企画して、もう始めるだけになっていた事業が、中止になったというのは、そのまま中止のままでしょうか。そのところ、なにか復活するようなことがあったら教えてください。

(○伊藤業務係長)

例として、春に花巻図書館の「こどもの読書週間関連行事」ということで、「セラさんといっしょに英語で楽しむおはなし会」という事業を企画しておりますが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止にはなりましたが、別の機会にということで、これから開催する予定でございます。また、東和図書館で3月に行う予定だった講演会も、新型コロナウイルス感染症の関係で開催できなかったのですが、延期し日程を変更して行う予定でございます。

(○坂本会長)

はい、やっぱり新型コロナウイルス感染症に負けているだけではちょっと嫌なので、何とか復活できるもの、皆さんが努力して、こぎつけたところは復活できるようにないかなと思っております。

それでは、次の議題に移ってよろしいでしょうか。

3番目の「新花巻図書館整備について」よろしくお願いいたします。

(3) 新花巻図書館整備について

- ・新花巻図書館整備について、市川生涯学習部長がこれまでの経緯から整備候補地や今後の予定等を資料に基づき説明。

(○市川生涯学習部長)

それでは私のほうから、ちょっと厚い資料で恐縮ですが、新花巻図書館の整備について、ご説明をいたします。これまでも、図書館協議会の皆さま方には、いろいろ資料でご説明などをしておりました。今回からまた、新しい委員の皆さま方ということで、これまでの状況と今年やっていくような予定などをご説明したいというものでございます。

まず1枚開いていただきまして、2頁・3頁となっておりますが、これが図書館整備のこれまで、ということでございます。現在の花巻図書館、ここは昭和48

年の開館でありまして、築47年となっており、移転につきましては、もう10年ぐらい前から話題になっているという状況でございます。特に閲覧スペースが二階にあるということ、エレベーターもないので、高齢者などの皆さんに支障があるというような状況。また駐車場も狭いなど、いろいろな問題点があるというような状況でございます。生涯学習の拠点として、また市街地再生の核として、新しい図書館の整備が求められてきたということでございます。

平成23年の12月には、公共的団体や図書館関係者、公募による委員などによります図書館整備市民懇話会というものが設置されました。ワークショップ等を経まして平成24年10月には、この市民懇話会の皆さんから花巻図書館への提言というものが提出されました。平成25年の5月には、これに基づきまして花巻中央図書館基本計画というものができまして、これは花巻厚生病院跡地、今の新しい総合花巻病院の場所に整備する予定の計画でありました。ただ、平成26年の3月に、この建設予定地から、有毒物質が検出され、土壤汚染があるということが県から発表されまして、それで中断をするというような形になりまして、結果的にまちづくりの観点から、総合花巻病院が移転してできたというような流れになり、それで図書館建設は一旦中断しているという状況でございます。

1枚めくっていただきまして、平成28年には、前の構想、花巻図書館への提言というものに基づきまして、図書館整備に関する構想を再構築いたしまして、これは図書館協議会の皆さま方にも、数回ご意見をお聞きして、パブリックコメント、また市民説明会も開催をいたしまして、平成29年の8月に『新花巻図書館整備基本構想』というものをつくりました。ここまでは決定しているというものでございます。この基本構想の中では、建設場所に関しましては、立地適正化計画の都市機能誘導区域内、ちょっとわかりづらいので右に図面をつけました。花巻駅から、花巻市役所のほうの市街地、青い線で囲まれた区域が、この立地適正化計画の都市機能誘導区域というものでございまして、簡単に言えば駅から上町・豊沢町の辺りまでというような区域でございます。その区域に建設すること、近隣施設との連携や他施設との複合化など、民間との連携も含めて検討すること、候補地を数箇所選定した上で、これから定める基本計画で場所を定めましょう、ということころまでは、平成29年に定めたというものでございます。

そこで平成29年に定めました基本構想について少しご説明をいたします。5頁です。この基本構想の中で、基本方針を定めておりますが、「市民一人ひとりの生活や活動を支援」「子どもの読書活動を支援し豊かな心を育てる」「情報を地域や産業の創造に結びつける施設」「まちや市民に活力と未来をもたらす図書館」といたしまして、三つの具体的な基本方針、『郷土の歴史と独自性を大切に、豊かな市民文化を創造する図書館』『すべての市民が親しみやすく使いやす

い図書館』『暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館』という基本方針を定めております。

1 頁めくっていただきまして、基本構想の中では具体的に整備方針を示しています。施設に関しましては、ユニバーサルデザイン、バリアフリーということですね。あとは十分なスペース。先人や郷土資料のスペース。子どもスペースを設けること。防災、防犯、環境への配慮もします。必要な駐車スペースを設けます。そして施設の併設等も検討すると。また蔵書資料に関しましては、広い分野の収集、先人や郷土資料の充実、視聴覚資料や電子資料の活用。運営に関しては、利用しやすい開館時間、利用者の視点、また、図書館ボランティアとの協働、職員体制の充実。サービスに関しましては、レファレンスサービスの充実、中央図書館の機能、情報発信を強化する、新たなシステムへの対応、ということ。基本構想で大きくこのような内容まで定めたということでございます。

その次の頁ですね、先ほどもご説明いたしました建設場所に関する方針は、立地適正化計画の都市機能誘導区域内に整備し、近隣施設との連携、他施設との複合化など、民間との連携も含めて検討、それで候補地を数箇所選定した上で、基本計画において場所を定めるとしています。事業費に関しては、可能な限りコスト削減する。建設後の運営費も考慮する。図書購入費、職員体制に係る経費も考慮する、というふうに、基本構想で定めておりまして、今年度これをもっと具体化していくということでございます。例えばユニバーサルデザイン、バリアフリー、例えばどこをバリアフリーに、障害者用の駐車場は何台設けるとかですね。そういう細かいところまでを、基本計画で定めていきたい、と考えております。

1 枚開いていただきまして、9 頁からは整備候補地の検討ということでございます、現在候補地として検討している状況についてご説明をいたします。10 頁をご覧くださいなのですが、10 頁新花巻図書館の整備候補地でございます、今決まっているのは先ほど来申し上げております立地適正化計画上の都市機能誘導区域に建設というところですが、その中で、まとまった土地として、これまでご説明をしてきたものの整理なのですが、「まなび学園の周辺」①営林署跡地、②まなび学園の前、旧花巻南高校ですね。③旧総合花巻病院跡地。総合花巻病院が移転しまして、まだ建物はございます。と大きく分けまして「花巻駅周辺」、これは④JRの用地なのですが、スポーツ用品店が建っている場所と⑤花巻駅南駐車場、なはんプラザの東側の駐車場、というのを候補地として、検討をした経緯がございます。

次の頁、11 頁ですが、整備候補地「まなび学園周辺」①②③における共通の利点と課題の整理です。利点といたしましては、これは市有地ですので、市の所有している土地が活用できる。あと、まなび学園と連携したイベントの開催など活

用できるのではないかということです。共通の課題といたしましては、駅までの徒歩10分で、駅からの距離、またバス、ほかの公共交通機関としては市街地循環バスが利用可能ですが、市街地循環バスしかないということでございます。あとアクセス道路として、このまなび学園の前の道路、南側の道路ですが、市道城内大通り一丁目線という道路です。これは歩道が一部にしかございませんで、幸橋という橋、ご存じかですが、下の道路が掘割です。上に橋、昔軽便鉄道の線路だったところですね、幸橋というところがかなり狭いのと歩道つけなければならないということから、ここの道路を整備するには多額の費用がかかりますし、期間もかかるというような状況。あと、病院跡地の土地形状ですが、病院跡地、堀の横に堀と一緒に建っているようなところですが、10mほどの段差がありまして、平たん部分が少し限定的、平地部分が少ない状況にあります。土盛りをすれば平らにはなるのですが、地盤沈下や安定性、少し地盤に問題があるというものでございます。

1枚開いていただいて、ここから具体的に営林署跡地、まなび学園の前など、事業期間や整備費など計算した細かい数字があります。まずは営林署跡地を皆さんご存じでしょうか。今のまなび学園の体育館の南側の駐車場になっているところです。この1,512㎡と書いている所に図書館を建てるケースを考えたものでございます。今駐車場になっています。合同庁舎の隣です。ここに建てる場合は、1,512㎡を見込んでいるのですが、横の肌色に緑の線が書いている部分が、実はここは崖で高低差がありますので、安定した勾配をとるには、これぐらいバックしなければいけないということで、ぎりぎりまで建てられないのですね、そういうことを考慮してとれる面積は1,512㎡というふうに計算したものでございます。そして、今仮にですが、想定している図書館の床面積は約4,500㎡という面積でございまして、これだと三階建てになるという計算です。もう一つ駐車場についてですが、駐車場の台数が、この下のほうに書いていますが、図書館、必要な台数180台という計算をしています。実際建てる段階になりますともっと細かく計算しなければいけないと思いますが、今の段階では180台を想定しています。他市の図書館などの情報も得まして、180台という考え方で想定をした場合、それだけの駐車場がとれるか、ということを図面に表したものでございます。営林署跡地に建てますと、駐車場、今まなび学園の駐車場もございしますが、こどもセンターがありまして、こどもセンターの駐車場も必要です。106台というのは、まなび学園の今の駐車場です。こうしますとほかに、旧総合花巻病院の建物がなくなったところに駐車場をつくれれば、対応はできるのですが、ちょっと遠いのではないかと、それでもまだ不足するというのが、課題と考えております。あと共通で道路の建設費、この場合道路整備が約9億5千万かかりますので、駐車場の整備もします

と10億以上かかるというような数字を示しています。

1枚めくっていただきまして14頁、今度は生涯学園都市会館、つまりまなび学園の前に建てた場合はどうだろうかという計算です。まなび学園の前、つまり駐車場を中心とする区域ですと、2,268㎡とれるということですので、二階建てでつくことはできます、あと駐車場も周りにとることは、できますというようなものでございますが、これの課題といたしましては、まなび学園の前につくってしまうということ。まなび学園利用者にとって若干駐車場は遠くなりますし台数も不足、日照等にも大きく問題があるのではないかとということ。あと、まなび学園の周辺というのは、一団の将来的にも使える土地という、まちなかのかなり大きい土地なので、この真ん中に建ててしまっているのかという課題もございます。

次、時間もかかり恐縮です。若干急いで説明をさせていただきます。16・17頁です。旧総合花巻病院の跡地に建てた場合ということですが、旧総合花巻病院の建物を壊すことになっていきますが、壊しますと実はそれほど平たんではなくて、地下にも基礎や建物があり、土地が複雑になる可能性が高いということで、このような想定で書いたものです。そうしますと概算で平らなところに建てるとすれば1,764㎡。奥のほうに建てるとしましても三階建てになると。また駐車場の整備にも課題があるということでございまして、駐車場の不足分を一部立体にしなければいけない。など課題もございます。

次に、19頁に行きます。19頁整備候補地花巻駅周辺ということですが、利点としては、こちらは道路がほとんど整備されていますし、全て融雪の道路になっています。県道が、雪が解けるような道路になっています。広い歩道もあります。あと電車や、路線バス等、メリットはあると。高校生等の賑わい、なはんプラザとの連携、国庫補助においても高い評価もあるというようなことを書いています。ただ課題としては、立体駐車場をつくらなければいけないということがございます。

次の頁20頁は、スポーツ用品店でJ Rの土地なのですが、このスポーツ用品店の場所に建てた場合というものです。ここは、先ほど来申し上げておりますJ R東日本の土地で、今J Rからお話しいただいているのは、土地を貸すことでは協力できますというような回答です。従って土地を借りなければいけません。ただ建物としては、二階建てでできる。またやはり駅前であるというようなメリットもございます。デメリットとしては賃料がかかる。あとなはんプラザの南側の駐車場等を立体駐車場にしなければいけないということがあります。

次を開いていただいて22頁です。これは今のなはんプラザの東側の駐車場に、建てた場合です。これは市有地、市の土地です。あと駐車場につきましても、立体駐車場をつくれれば確保はできるのですが、ここのデメリットとしては、この場

所に図書館をつくった場合、ここの駐車場をなくしてしまうと駅利用やホテル利用などに支障があるのではないかと。仮に一階を駐車場にして、二階から図書館ということもできないことはないのですが、その分、駐車台数も多くなり建築経費はかかる、ということになろうかなと考えております。

もう1枚開いていただきまして24頁です。今年の1月に「新花巻図書館複合施設整備構想」を市議会に公表いたしまして、これも図書館協議会にはこれまでもご説明しておりますが、これが今のスポーツ店の場所に、図書館と複合施設、複合施設部分というのは民間が運営するのですが、賃貸住宅やテナントを整備する、ということはどうだろうかという構想案でございます。併せまして、なはんプラザ北側の広場を再整備、また、南側の駐車場を立体化するというような構想を公表いたしました。これはこの土地に関してはJ R東日本の盛岡支社で土地を貸してもいいというような回答がありまして、それを受けましての検討の結果、このような事業手法はどうだろうかということを市の案として公表したものでございます。

次の頁、新花巻図書館整備のこれからでございますが、今年度、新花巻図書館の整備基本計画を策定したいと思っております、建物の規模やレイアウト、蔵書数やサービス、新花巻図書館の具体的な基本計画を策定したい。先ほど申し上げました基本構想、大まかなところはもうできているのですが、その具体的な内容をつくっていききたいというのが今年度でございます。

次の頁を開いていただきまして、基本計画、市民参画等も含めて行っておりますが、まずワークショップを開きまして、いろいろなアイデアを皆さんからお聞きしたいと思っております、20代の皆さんとのワークショップ形式によるアイデア出し、あと高校生からのアイデア出し意見交換を、今月25日から開催いたします。そのアイデアを踏まえまして具体的にバリアフリーだったら、どのようなものいいかなど細かいところを詰めながら、基本計画をつくっていききたいというものでございまして、8月1日の広報で公募もいたしますが、全体のワークショップ、市民各年代層、各団体からの推薦も含めたワークショップも、8月の下旬から開催したいと思っております。それらの皆さんの意見を聞いて、基本計画をつくりたいという状況でございまして、もちろん図書館協議会の皆さま方からも、ご意見をいただきたいと思っております。このような中市議会では、図書館に関してやはり市民も関心が高くて、重要なものであるということで、特別委員会を設置いたしました。ご存じかと思いますが、市議会からも議長名で意向書というような形で意見が出されておまして、市民の皆さまからご意見をきちんと聞いて進めるように、建設場所についてもきちんと皆さま方からのご意見を聞くようにというような意向を示されております。そのような中で、今年度この基

本計画をつくる。そして素案ができましたら市民参画の手順も踏みながら、また皆さんのご意見を聞きながら、具体化していきたいというような状況でございます。ちょっと急ぎましたが、ご説明をさせていただきました。

(質 疑)

(○坂本会長)

ありがとうございます。今までのことを手際よく教えていただきましたが、これに関しましてご質問がありましたらお願いします。はい、中里委員さん。

(○中里委員)

ワークショップの件で質問ですが、私自身の予定もまだわからないのですが、こういったやり取りがあるのかちょっと興味があるので、見学することはできますでしょうか。

(○市川生涯学習部長)

はい、どうぞ見学してください、傍聴大丈夫です。

(○中里委員)

では、都合が合えばぜひよろしくお願いします。

(○坂本会長)

ほかにはございませんでしょうか。

それでは、このワークショップが実り多く、そして、より（新図書館建設に）近づきますことを願っています。新図書館は本当に難産しております。非常に難産していて、でもみんなが欲しいということだけは確実なので、これだけでもんで、みんなの意見が出れば、さぞかし、すごい図書館ができるだろうなと思って期待するところでございます。

はい、市川部長さんどうぞ。

(○市川生涯学習部長)

図書館協議会は、次は11月に開催いたします。その頃には、また少し進んだ内容でご説明できると思いますし、その時にまたご意見をいただいてもいいですし、その前でも、個人・団体を問わず、例えばアイデアや意見がある場合には、生涯学習課あるいは図書館でも構いませんので、お伝えいただき、いろいろと参考にさせていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(○坂本会長)

はい、積極的に関わっていききたいなと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、この整備に関してよろしいですか。はい、小笠原委員さん。

(○小笠原委員)

確認ですが、20代の方々、高校生の方々のワークショップの開催、大変よいと思いますが、そのほかの年齢層のワークショップを行う予定はございますでしょ

うか。

(○市川生涯学習部長)

先ほど、少しお話ししたのですが、まず先行して、この20代のワークショップと高校生のワークショップで意見を聞くのですが、全体（一般）のワークショップを8月の末から行いたいと思っています。8月1日号の広報で、それはお知らせをして、公募による委員や各団体等から推薦された方も入れて、あと高校生・20代グループからも数名入れて、全体のワークグループというか、ワークショップのようなことをしていきたいと考えております。

(○坂本会長)

幅広く意見が反映されることを期待いたします。よろしくお願いいたします。
あとはございませんか。それでは、議題の3番まで終わったということで、事務局にお返しいたします。

8 その他

- ・市川生涯学習部長から、市議会でも図書館協議会委員との意見交換を希望している旨の説明と、御礼のあいさつ。

9 閉会（久保田花巻図書館副館長）